

## 雪辱、交流ドッチボール大会（年長）

12月12日、つつじが丘幼稚園年長さんとの「交流ドッチボール大会」を行いました。前は9月19日につつじが丘幼稚園で行いましたが、残念ながら3戦3敗で見事に負けてしまい本当に悔しい思いをしました。その時は、つつじが丘の子どもたちとの力の差を感じたものです。それからおよそ3か月、各クラス一生命練習をしてきました。試合は、前回と同様3回戦でしたが、今回は、年少さんや年中さんの応援の後押しもあり、2勝1敗で、見事に勝つことができました。よほどうれしかったのか、勝利が決まった時は、全員が「やったあー」と大きな叫び声が出ていました。



## 12月生まれのお誕生会・クリスマス会

12月17日、「12月生まれのお誕生会」を行いました。今回は16名のお友達が、ステージでお祝いをしてもらいました。一人一人から自己紹介があり、プレゼントを受け取っていました。今回は、ひよこ組から、昔懐かしいピンクレディーの「UFO」のかわいらしい振り付けの踊りと歌の発表がありました。

またその後、ちょっと早めのクリスマス会を行いました。



## 「親」という生業（なりわい）は、難しい

親という文字をじっくり見てみると、とても面白いものだと思います。というのは、親という字の左側の部分は「くつつく」という意味だそうです。このことは、子どもを育てるには、子どもに寄り添い、くつついてみるのが原則だと考えられます。また、字の全体を見ると「立ち木を見る」とも読めます。これは、親は立ち木を見るような気持ちで、遠からず、近からず、しかし愛情をもって子どもを見守ることが大切だと理解することができます。さらに「木の上に立って子どもを見る」とも読めます。これは、木の上に立って（座ってではないところに、愛情が感じられますが）心配しながら、子どもを見守る姿勢が浮かんできます。

ところで、木を見るときに、近くで見るのと遠くで見るのとでは、どのような違いがあるのでしょうか。

### (1) 近くで見ると

葉の付き方、葉の形（丸い、長い・・・）葉脈、木肌などがどんな状態を推察するかが、細かくわかります。子どもの接し方で考えると顔色、つや、表情で健康状態や心の状態を推察するようなものです。しかし、あまり近くに寄りすぎると、「あら」が見えてガミガミ言うことで、じっくり見守るとか、待ってみるということがなくなってしまいます。近すぎると木の全体が見えないこともあるので、適度な距離をおいて見るのが大切です。

### (2) 遠くで見ると

木の全貌が見えます。姿の美しさ、樹形の美しさをじっくり鑑賞できる利点があります。子どもの見方では、全体として客観的に見る事ができ、温かい眼差しでじっくり見つめ、見守り、良さをみてやる事ができます。しかし、あまり遠くで見ると、木だということもわからなくなるので、注意する必要があります。つまり、放任、心が通わない状況はよくないということになります。

このように、本当に「親」という生業は、難しいものですね。

## 楽しい思い出に残る冬休みを

明日、子どもたちは、冬休みを楽しみにして帰ります。2学期の子どもの良いところを認め励ましてあげてほしいと思います。そして、21日から冬休みですが、楽しい思い出がたくさん残る冬休みにしてください。

### 冬休みの注意

お正月も近づき、子どもたちは今から待ち遠しいようです。ごちそうが並ぶ機会も多いと思いますので、食べすぎには注意しましょう。

この機会に、「新聞をとってくる」「ペットにエサをやる」など、毎日できる簡単なお手伝いを、お子さんと決めてはいかがでしょうか。何かしら自分の役割があるとがんばれるものです。できたらいっぱい褒めて認めてあげてください。

では、みなさん、よいお年をお迎えください。

1月17日（金）の3学期の始園式には、みなさん元気に登園してきてください。